

①



# 慈光

秋号

- ①お知らせ
- ②除夜会・修正会
- ③来年の行事予定
- ④住職のコラム

## 物故者追弔会

### ○除夜会 修正会のお知らせ

恒例行事です。除夜の鐘と新年のお詣りのお知らせをしております。②頁より確認ください。

### ○瑞雲閣【納骨堂】の御案内

詳細は、③頁にお知らせしております。慈光寺の納骨堂は、他と比べますと維持管理費などを含めて、割高であると思いますが、札幌市の条例に則り管理し、月に不定期ですが、納骨堂でお詣りをしております。万が一の際は、顧問弁護士に相談の上、管理をできる体制を整えております。無縁にならないように、またさせないよう、人は一人ではないことをう一度、お考え下さい。

### ○慈光寺近況

気がつけばあつという間の一年でした。長男廣顯が龍大へ行き、留守番を頼んでいただくこともあつて、私たちがお寺を空ける機会が増えてしまい、皆様にご迷惑をおかけしております。

土日はパソコン業務ができないため、今まで寺務室業務をしておりませんでしたが、土日の方が、寺務室にいられることが多くなつたため、現在は業務をしております。ただし、法事などがない場合は、早めに閉めることがあるので、ご利用の方は遠慮なく住職の携帯電話におかけ下さい。特別の行事がない場合は、冬期間の閉館時間は午後四時です。時間外ご利用の方は、一度、お寺にお問い合わせ下さい。

063-0867 札幌市西区八軒7条東3丁目4-1 真宗木辺派慈光寺

TEL 011-756-4225 Fax 011-756-4234

住職携帯：[090-8279-7078 \(変更\)](tel:090-8279-7078)

<http://jikoji-sapporo.jp/> E-mail: [jikoji@live.jp](mailto:jikoji@live.jp)

② ○除夜会 修正会のお知らせ

十二月三十一日(月) 午後十一時三十分より

除夜会 行く年来る年

除夜会終了後、年が明けて

平成三十一年一月一日(火) 午前十二時半頃

修正会 新年のお詣り

※除夜会では午後十一時頃より整理券をお配りします。

番町が呼ばれるまで、本堂でお待ちください。番町が呼ばれましたら、鐘楼亭までお越しください。

①鐘は強く叩かなさうです。

②堂内を含め境内地もすべて禁煙です。

※慈光寺年内のお詣りは、二十八日(金)まで出ております。ただし最近、予想しない暴風雪などの際は、お詣りをお休みする場合があります。ご理解下さい。

※新年のお詣りは、一月五日(土)からいたします。

○慈光寺ホールでの葬儀について

瑞雲閣【ホール】を定期的に法事でご利用いただいております。このホールの収容人数は二〇名程度と少ないのですが、葬儀にも対応しております。奥に座敷もあり、控え室としてご利用いただけます。

ご利用にあたって、夜中のご遺体の搬送がセキュリティの関係でできない点があり、ご不便をおかけしますが、朝七時過ぎには解除できますので、この点はご理解ください。

瑞雲閣【の使用料ですが、御布施 院料を含めてを除

いて、瑞雲閣【一階全館の利用と祭壇荘厳込みで、五〇万円

からとなっております。葬儀社は、博善社、極楽堂の二社にお願いしております。どちらでも同じ金額からです。他社の場合は慈光寺まで一度、ご相談ください。



株式会社 極楽堂はなや

札幌市中央区南8条西9丁目

011-561-0909

○平成三十一年度行事予定

- 一月一日 火 修正会
- 三月二十一日 木 二十一日 金 春季彼岸永代経法要
- 五月十二日 日 花まつり
- 六月 日程未定 公開講演会
- 八月十三日 火 十五日 木 盆会 納骨堂法要
- 九月二十一日 日 二十三日 月 秋季彼岸永代経法要
- 九月二十九日 日 姜曉艶札幌ツアー
- 十月二日 水 三日 木 宗祖親鸞聖人報恩講
- 十一月 日程未定 追弔会 公開講座
- 十二月三十一日 火 除夜会

○布教予定日 午後一時半より

- 四月一日 月 六月一日 土
- 七月一日 月 十二月一日 日

※現在「定例布教」はしておりません。布教日として年四回を予定しております。

○虚空の間「納骨堂」の御案内

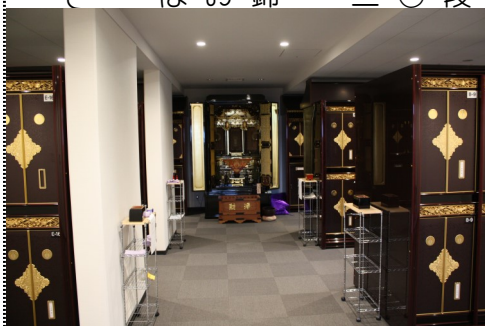
瑞雲閣「一階 虚空の間」の御案内です。納骨堂のタイプには上下二段型と一段型があります。上段下段の作りは一緒ですが、お詣りのしやすさからすると上段の方が良いかもしれません。一段型は、一家族が一段を占有するタイプで、仏具も専用となります。

収骨体数は、二段型は上下それぞれ六体。一段型は十二体収骨できます。利用買加金は上段二二〇万円、下段一〇〇万円、一段型は二〇〇万円です。分割が可能です。ご希望であれば、最長六十回まで無金利でご対応いたします。

年間の維持管理費は、上下二段型で月三〇〇〇円 年三六〇〇〇円、一段型は月三三〇〇円 年三九〇〇〇円。

収骨体数を越えた場合、本山錦織寺、慈光寺専用墓所へ残ったお骨を無料で移動します。その際は確認をさせていただきます。

なお、本尊横の納骨堂についてはお問い合わせください。



株式会社

博善社

札幌中央区南14条西7丁目

011-512-1111

## 住職さんにきいてみよう その44 衆生の心

『無量寿経』という私たち浄土真宗の所依の經典について続けて書いております。

以前、仏の救済の条件が述べられていることを少し触れました。『無量寿経』には、三種類の人間観について触れている箇所があります。専門的には「上輩」じょうはい

「中輩」ちゅうはい「下輩」げはいと言われ、「上輩」の人はまさに優等生、仏に成りたいと一心に修行をして、すべてを捨てて沙門（修行僧）となる道を選びます。臨終の時に目の前に諸仏が現れ、七宝できた蓮華の中に往生することができると書かれています。

「中輩」の人は、沙門となって上輩の人ほど多くの功徳を積むことができなくても、仏に成りたいという心で阿弥陀仏を念じ、善根を修めてたならば、臨終の時に阿弥陀仏が化身して、多くの聖者を伴って現れ、往生するとあります。

「下輩」の人は功徳を積むことができなくても、一向に阿弥陀仏を念じて浄土へ往生したいと願う者です。このものは「上輩」「中輩」の人よりも直ちに往生はできないのですが、偽りのない心を持ってい

れば、夢のように往生することができると書かれています。

それぞれに「往生」の条件があり、要因が述べられています。「上輩」「中輩」「下輩」と共に、最も重要なのは「仏に成りたい」と思う心です。これを「菩提心」といいます。果たしてその心を私たちは、容易に保ち続けることができるのでしょうか。

『無量寿経』には三種類の人間観が述べられていますが、もう一つの所依の經典である『観無量寿経』にはさらに細分化されて九つに分けられています。今は、煩瑣になるため割愛します。

いずれにしても共通しているのは、「菩提心」が重要である点です。しかし、今の時代、誰もが仏に成りたいとは思わないと感じます。まず、法話を聞くという姿勢が少ないのですから当然でしょう。

でも私が思うのは、「浄土真宗の話聞く」のではなく、「仏教を学ぶ」のであれば、平易な言葉で教えてくださる方がいらっしやいます。私は下手ですが、仏に成るのではなく、学ぶ姿勢を持つことは難しく考えなくてもよいのではないかと思います。

九月の地震は驚きました。皆様の地域はいかがでしたか。お寺は幸い地震発生後の午後6時前には停電が解消しました。仏具もわずかですが、落ちたりしました。しかし、建物はずがに頑丈。びくともしませんでした。それは【瑞雲閣】の方で、本堂は、今回の台風の風と地震と影響が見られます。合掌